

化学業界で初 住友化学グループと T2、自動運転トラックを用いた商用運行を開始 ～化学品の幹線輸送に自動運転トラックを本格活用～

住友化学株式会社（東京都中央区、代表取締役社長：水戸 信彰）、住化ロジスティクス株式会社（東京都中央区、代表取締役社長：高木 国博）および株式会社 T2（東京都千代田区、代表取締役 CEO：熊部 雅友、以下「T2」）の3社は、2026年4月より、国内の化学業界では初めて*1、自動運転トラックを用いた化学品の商用運行を、関東から関西までの高速道路の一部区間で開始します。

基礎化学品から高機能材料まで幅広い素材を提供する化学産業では、原料・製品のトラック輸送が多く、ドライバー不足によるサプライチェーンへの影響などが懸念されています。3社は、2025年7月から住友化学グループが生産する複数の化学品を対象に、T2が開発したレベル2*2自動運転トラックを用いて幹線輸送する実証*3を行ってきました。2026年3月まで計5回にわたり、関東ー関西の高速道路の一部区間で取り組んだ結果、T2の自動運転トラックが既存の運行と同等の輸送品質や安全性を担保できることを確認したため、このたび商用運行を開始し、自動運転トラックを本格的に活用する運びとなりました。



住友化学グループの物流拠点と T2 の自動運転トラック



輸送する合成樹脂

商用運行は、2026年4月6日より、千葉県袖ヶ浦市にある住友化学グループの物流拠点から大阪府にある中継拠点までの約520kmの区間（レベル2自動運転区間*4：東名高速・綾瀬 SIC（神奈川県）～京滋バイパス・久御山 JCT（京都府）の約420km）で定期的に行い、プラスチック製品の原料である合成樹脂などの化学品を輸送します。さらに、環境に配慮した輸送の実現を目指し、CO₂排出量を実質100%削減可能*5な次世代の軽油代替燃料として期待される「リニューアブルディーゼル」を利用します。

3社は、今後、T2が2027年度に実現を目指すレベル4*⁶自動運転トラックによる幹線輸送サービスの開始に向けて取り組みを進め、持続可能な物流の構築を推進してまいります。

*¹ T2調べ（2026年4月時点）。国内化学メーカーを対象とする自動運転トラックの定期運行として

*² ドライバーの監視のもとに行われる特定条件下での高機能自動運転

*³ 本件に関するリリース：<https://t2.auto/news/2025/0508.pdf>

*⁴ 安全確保が必要な状況や料金所などではドライバーが一時的に運転操作

*⁵ 地球温暖化対策の推進に関する法律・エネルギーの使用の合理化及び非化石エネルギーへの転換等に関する法律に基づく

*⁶ 特定の走行環境条件を満たす限定された領域において、自動運行装置が運転操作の全部を代替する状態

【会社概要】

■住友化学株式会社

本社所在地：東京都中央区日本橋2丁目7番1号 東京日本橋タワー

代表者：代表取締役社長 社長執行役員 水戸 信彰

設立日：1913年9月22日

事業内容：アグロ&ライフソリューション、ICT&モビリティソリューション、アドバンストメディカルソリューション、エッセンシャル&グリーンマテリアルズ 他

企業サイト：<https://www.sumitomo-chem.co.jp/>

■住化ロジスティクス株式会社

本社所在地：東京都中央区日本橋小網町1-8 茅場町高木ビル

代表者：代表取締役社長 高木 国博

設立日：1966年3月15日

事業内容：化学製品を中心とする調達、生産、販売、静脈物流および物流情報システム開発・運用、物流診断等の物流関連サービスの提供

企業サイト：<https://www.sumika-logi.co.jp/>

■株式会社T2

本社所在地：東京都千代田区内幸町二丁目2番3号 日比谷国際ビル 1階

代表者：代表取締役 CEO 熊部 雅友

設立日：2022年8月30日

事業内容：自動運転システムの開発、レベル4自動運転トラックによる幹線輸送サービス事業、幹線輸送に付随した関連サービス事業、その他関連サービス事業

企業サイト：<https://t2.auto/>

公式X：https://x.com/t2_auto

以上